

令和 7 年度 東京都立府中東高等学校 学校経営報告

東京都立府中東高等学校長  
高柳 勝彦

## 1 経営目標と取組内容

### (1) 今年度の教育目標と方策

これまでの学校経営・組織体制を見直し、「学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、広報活動」の充実、関係諸機関との連携という目標達成にむけて、学習到達度や進路結果、部活動の成果などに対して高い目標を掲げ、教職員が一丸となって生徒主体の教育活動を展開する。

### (2) 各項目の取組内容

#### ア 学校経営・組織体制

- ①「西部学校経営支援センター特別指定校」「外部検定実施校」「理数研究校」の3つの重点取組の充実により、課題解決を進めることができた。次年度も継続させ発展させる。特に1学年の英語検定は実質合格率39%を示し、取組の成果があった。
- ②会議資料のデジタル化を進め、会議時間の短縮や資料保存方法が確立し、業務の効率化が図れた。
- ③教職員一人一人がその職責を十分に自覚させる研修を実施し倫理観や規範意識を高めてきたが、服務事故2件が発生した。「教職員の服務に関するガイドライン」に基づき厳正対応し、次年度は研修の質向上と再発防止策を強化する。

#### イ 学習指導

- ①毎時間授業の「ねらい」を明確に示し、生徒に学習意識と学力を高めるとともに、授業評価アンケート結果及び学校評価アンケート結果を踏まえ、授業改善に務めた。
- ②教科代表者会議にて評価基準・授業内容の統一に向けた検討を進ませ、組織的な改善ができた。
- ③全教員のICT端末利用では「Teamsが77%、資料提示が88%」の教員に活用され、教材の提示・配信や家庭学習課題に取り入れることで、学習の効率化が向上した。
- ④長期休業中等の講習や補習を実施し、生徒の進路希望・補習的な内容に応じた講座を開講した。
- ⑤管理職による授業観察とおした分析と授業観察シートによる授業改善、教員相互の授業見学を通して、指導力の強化を図ることができた。
- ⑥1年生の英語検定全員受験対策として、英検指導員による13回38時間の特別講座を実施した。当日欠席(2割)を除き、英検3級を含めると4割の生徒が検定に合格した。

#### ウ 生活指導

- ①あいさつや身だしなみの大切さを全校集会で語り、規律ある学校生活の意識付けと共通理解を醸成した。
- ②定期的に教育相談委員会を開催し、支援が必要な生徒の把握・対応について共通認識を形成した。教員研修を実施し、対応力の向上を図った。
- ③「学校いじめ防止基本方針」に基づき、年間3回のいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見及び未然防止に組織的・計画的に取り組んだ。
- ④学校安全計画の全体計画に基づき、消防署、府中市役所、自衛隊、地域住民と連携した防災訓練等、年間4回の避難訓練を通じ、安全意識の向上を図った。
- ⑤都立府中けやきの森学園高等部と本校生徒会執行部・ダンス部との交流会を行い、相手を理解し思いやる気持ちの育成に取り組んだ。

#### エ 進路指導

- ①卒業までの3年間の「総合的な探究の時間」の組織的・系統的な取り組み、桜美林大学による全体指導や個別指導により、生徒の課題解決能力の向上を図り、3年生の成果発表を行った。
- ②年間5回のスタディサポートと外部模試の分析会を実施し、生徒の学力傾向を把握し、分析結果を進路指導・個別支援を充実させた。
- ③面接週間における二者面談・三者面談を実施する。学校推薦型選抜に出願する生徒への全教員が担当して面接指導を行い、とおして進路希望の実現を支援した。
- ④教員対象の専門学校研修会や総合型選抜の対応等の研修会を開催し、進路指導に役立てる取組を行った。
- ⑤進路アドバイザーによる生徒の進路への不安を解消させ、生徒の「主体性・挑戦への意欲・学習意欲の向上」を引き出した。

#### オ 特別活動・部活動

- ①学校行事では互いに高め合う集団づくりを意識し、帰属意識や参加する喜びを実感させた。

- ②理数研究校として指定を受けた生物部が、T o k y oサイエンスフェア研究発表会の参加と活動紹介の校内展示を行った。水族館のバックヤードツアーを企画し、生物部以外の生徒も参加した。
- ③関東大会以上のレベルの大会にボクシング部とダンス部が出場した。
- ④生徒会が中心となって、地域の寺子屋ボランティア・小学生下校見守りボランティア・子ども食堂ボランティア等、地域と連携した活動に取り組んだ。例年実施の夏祭りは雨天中止となった。
- ⑤校内ビブリオバトルを開催し、代表生徒を都大会に出場させる取組を行った。

#### カ 募集・広報活動

- ①ホームページの更新頻度を高め、本校の特色ある教育活動の様子を広く伝えた。
- ②1年生による夏休み前母校訪問を、104校（昨年度90校）の中学校に対して行った。
- ③校内外の学校見学会や説明会、管理職による調布市・府中市内全校、稲城市3校の中学校訪問等の広報活動により、本校を第一希望とする倍率が1.30倍、推薦3.39倍、学力1.30倍となった。

## 2 次年度以降の課題と改善策

グランドデザインに基づき、教育活動を推進している。次年度以降も、教育課程、教科・進路指導を工夫し取り組み、主体的な生徒の活動や進路に対してとことん面倒をみる生徒に寄り添う良い学校を目指す。

### (1) 学習指導

- ①授業や補習を通じて基礎学力の定着を図り、科目内容の統一指導を行うことで、高校段階に必要な学力を身につけさせる。
- ②外部模試による生徒の学力分析により到達目標の明確化と共有し、生徒に現状を知らせ、学習意識を高める授業改善に取り組む。
- ③漢字検定や英語検定は、単なる受験に留まらず、目標級の合格対策を見直し、効果的な学習を推進する。
- ④ICT・デジタル教材等を活用し、家庭学習習慣を支援する取り組みを工夫することで、生徒の「自学自走」を促進する仕組みを築く。
- ⑤教育相互の授業見学を活発化させ、授業力向上や教材研究等の人材育成のOJTにつなげる。

### (2) 生活指導・教育相談

- ①校務内規を整理し、組織的で一貫性のある生活指導を推進するとともに、生徒に「自律した行動」を意識させ、主体的なルールやマナーを守る行動を促す。
- ②いじめや希死念慮の抑止に向け、生徒がSOSを発信しやすい学校づくりや「府中東高校SNSルール」の周知徹底の取組をより強化する。
- ③支援が必要な生徒への合理的配慮の共通理解を全教員で行い、担任・スクールカウンセラー・特別支援コーディネーター・養護教諭等が連携する校内体制を充実させる。特にSC面談数は昨年度に比べ倍増した。

### (3) 進路指導

- ①保護者へ向けた進路情報の発信について工夫・改善を図り、保護者への進路に関する啓発活動や保護者との連携した指導を充実させる。
- ②社会的・職業的自立支援教育プログラム事業を活用し、生徒の実態に即して適宜修正を加えるとともに、進路指導部主導の進路活動や進路行事を組織的に行う。
- ③センター特別指定校を活用し、進路アドバイザー等の外部人材を登用することで、生徒の自信につながる挑戦する進路選択を実施する。

### (4) 特別活動・部活動

- ①HR活動や部活動、学校行事など、様々な機会を捉えて、生徒の主体的な活動を支えるため、教職員全体で「生徒に寄り添う支援」の共通理解を図り、豊かな人間関係構築の取組をより推進する。
- ②生徒会活動を中心に、生徒自身が学校をより良くしようとする組織的な運営と体制を整備する。
- ③部活動を東京都の部活動の規定に基づき運営し、部活動指導員や外部指導者との連携により、競技力の向上や部活動顧問の業務改善を図る。
- ④ボランティア活動や地域やけやきの森学園高等部との連携・交流を活性化し、インクルーシブ教育・多文化共生教育を行う。

### (5) 募集・広報活動・その他

- ①ホームページの情報を更新し、募集対策や学校の様子を知らせることで、入学者選抜における応募倍率の向上を図る。また、出前授業等、部活動体験等の中学生を対象とした活動の強化を推進する。
- ②学校生活の様子が分かるショートムービーを制作し、学校内外の説明会に積極的に参加し、本校の現状を正確に伝えていく。
- ③教職員に対して必要に応じ産業医による面接を実施し、また、計画的な年休取得を推進することにより、在校時間の削減に努め、教職員の心身の健康の保持・増進を図る。
- ④年度内に学校課題に対し、前例踏襲しつつ、新たな取組に建設的な検討を重ね改善する。

### 3 数値目標と結果

令和8年3月13日現在

今年度の数値項目		目標値	令和7年度	過去の数値	
				令和6年度	令和5年度
学校評価	学校満足度の肯定回答率	95.0%	91.0%	91.0%	91.0%
	授業満足度の肯定回答率	90.0%	85.0%	91.0%	82.0%
	生活指導理解度の肯定回答率	80.0%	82.0%	71.0%	67.0%
	進路指導満足度の肯定回答率	90.0%	90.5%	90.0%	87.0%
学習指導	長期休業中の講習の講座数	60講座以上	54講座	44講座	47講座
	図書館利用者数	2,400名以上	1,628名	2,208名	926名
	図書館貸出冊数	2,400冊以上	2,135冊	2,126冊	2,157冊
	英語検定等取得者数準2級以上	50名	74名	19名	37名
	漢字検定取得者数準2級以上	50名	31名	25名	77名
生活指導	年間皆勤の生徒数	120名以上	80名	97名	109名
	年間遅刻延べ回数	8000名以内	8,235名	8,601名	9,675名
	部活動加入率	72.0%以上	68.8%	69.5%	63.0%
	部活動で関東大会レベル出場部数	3部以上	2部	1部	1部
	部活動で全国大会出場部数	1部以上	1部	1部	1部
	ボランティア活動への参加生徒数	120名以上	70名	105名	91名
	自転車通学生徒のヘルメット着用率	35.0%以上	8.0%	8.0%	5.0%
	特別指導件数	10件以下	9件	13件	7件
進路指導	進路決定率	95.0%以上	95.0%	95.0%	92.7%
	4年制大学進学率	65.0%以上	55.6%	60.0%	63.5%
	私立大学（GMARCH）現役合格者数	5名以上	9名	3名	8名
	私立大学（日東駒専）現役合格者数	15名以上	26名	13名	16名
	私立大学（大東亜帝国）現役合格者数	80名以上	61名	78名	55名
	就職者数（うち公務員）	9(1)名	9(4)名	9(1)名	6(0)名
	進路未決定率	5.0%未満	5.0%	5.0%	7.3%
入選・広報活動	本校を第一志望とする者（中進対倍率）	1.30倍以上	1.30倍	1.21倍	1.38倍
	推薦に基づく選抜の応募倍率	3.00倍以上	3.39倍	2.97倍	3.48倍
	学力に基づく選抜の応募倍率	1.30倍以上	1.30倍	1.26倍	1.50倍
	ホームページ更新回数	450回以上	329回	415回	395回
	ホームページ閲覧回数	70万回	89.8万回	69万回	64.2万回
	学校説明会等参加者数（合同説明会を除く）	4000名以上	3,704名	3,654名	3,517名
	見学会・説明会・出前授業等の協力（平均）	4.0回以上	6.3回	3.7回	5.3回
学校経営・運営	教育相談に関する委員会の開催回数	25回	27回	24回	20回
	スクールカウンセラー活用（相談数）	450件	626件	325件	237件
	いじめ（重大案件／認知件数）	0/5件以内	0/0件	0/0件	0/1件
	転学者数（今年度末）	15名以内	25名	18名	17名
	中途退学者数	5名以内	2名	0名	0名
	月45時間の超過勤務者（延べ人数）	140名以内	148名	151名	156名
	サービス事故（暴言・体罰等を含め）	0件	2件	0件	0件
	センター契約率	56.0%以上	46.7%	53.0%	56.0%

